

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標3_経済・雇用】

施策 3-4_観光・物産の振興

基本計画		事業番号	細事業名称
3-04-01	近代化産業遺産群を活用した観光の振興	07030_11	銅婚の里PR推進事業
3-04-01	近代化産業遺産群を活用した観光の振興	07069_01	マイントピア別子端出場整備事業
3-04-01	近代化産業遺産群を活用した観光の振興	07219_02	筏津観光施設整備事業
3-04-02	新居浜ブランドの育成・拡大	07030_08	着地型旅行商品企画・造成事業
3-04-02	新居浜ブランドの育成・拡大	07077_06	県外物産展開催事業
3-04-02	新居浜ブランドの育成・拡大	07077_09	食を通じた観光宣伝充実事業
3-04-02	新居浜ブランドの育成・拡大	07077_11	七福芋ブランド推進事業補助金
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07028_02	にいほま納涼花火大会事業補助金
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07028_05	新居浜市太鼓祭り推進委員会事業補助金
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07028_10	とっておきの新居浜検定事業補助金
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07028_20	にいほまわくわく春祭り事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07030_01	観光宣伝推進事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07033_01	NS観光推進協議会事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07033_02	別子・翠波はな街道サイクリング事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07033_03	三市連携広域観光宣伝推進事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07088_01	観光施設整備事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07187_01	ゆらぎの森整備事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07221_01	太鼓祭り観光資源化推進事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07254_01	新居浜市観光物産協会事業補助金

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07030_11		
事業名(行目名称)		観光宣伝推進費	細事業名	銅婚の里PR推進事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	近代化産業遺産群を活用した観光の振興	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	県外からの入込観光客数		数値	778,445人		
	手段(どうやって)	銅(あかがね)の里新居浜で、結婚7年目(銅婚)を祝い、別子銅山の産業遺産、あかがねミュージアム、マウントピア別子、広瀬歴史記念館など「銅」をテーマとしたイベントを開催し、情報発信を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子銅山近代化産業遺産等を活用した観光振興を図ることにより、新居浜市のブランドイメージを高め、交流人口の拡大を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		3,271	3,338	3,338	○委託料 2,838千円 ○負担金補助及び交付金 500千円		
財源	県・国支出金	1,401	1,419	1,419		0	
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	1,870	1,919	1,919			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
参加者数		目標値	90	150	100	150	150
		実績	140	202	130	144	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>前半に実施した銅婚WEEKは好評であり、県外の「結婚〇年目」を祝う人が「銅婚」を調べて参加してくれるなど、「銅婚式」が定着しつつある。目標としていた銅婚対象者100組の来場は達成できなかったが、銅婚は結婚7年目を迎える夫婦が対象で、毎年対象者が変わっていくため、同じ時期に長期的にイベントを開催することで、銅婚式を「新居浜で祝う」習慣を定着させ、「銅婚の里にいほま」としての地位を確立する必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
<p>令和2年度より地域ポイント制度と連携し、新居浜市民の銅婚式を迎える夫婦にポイントプレゼントを企画するなど、新居浜＝銅婚式を祝う街としての定着を目指している。定着に向けては、効率性の高い事業ではないが、市内の人も対象にした銅婚WEEK等、長期的な取り組みが必要である。銅婚ツアーについては、食や子育て支援の融合等、見直しを行い、縮小とする。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>銅婚式をきっかけとして、市外の方には新居浜市を知ってもらい、市内の方にはより地元を好きになってもらう機会になっている。毎年参加者が変わることから、継続して実施することで「新居浜＝銅」のブランドイメージを定着させることにつながると考える。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07069_01		
事業名(行目名称)		マイントピア別子端出場整備事業	細事業名	マイントピア別子端出場整備事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	近代化産業遺産群を活用した観光の振興	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	観光施設数		数値	2		
	手段(どうやって)	必要箇所の修繕及び計画に基づいた定期的な改修工事等を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	常に快適かつ安全に利用してもらえるよう施設、設備等の整備を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		7,527	335,893	335,893			
財源	県・国支出金	0	76,615	76,615	0	○需用費 7,542千円 ○委託料 1,100千円 ○工事請負費 327,251千円	
	地方債		225,500	225,500			
	その他	527	28,169	28,169			
	一般財源	7,000	5,609	5,609			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
修繕箇所及び工事件数			目標値	20	20	20	20
			実績	22	12	9	20
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
<p>竣工から30年が経過した観光地マイントピア別子 端出場ゾーンに係る修繕・工事の事業となり、施設が建物寿命の60年の折り返し地点を迎えていることから、修繕及び工事の件数、規模が増加している。また観光交流施設については、オープンから7年が経過していることから、温浴施設及び子ども用遊戯施設の各種設備の計画的に更新していく必要がある。施設利用者の安全で快適な環境の構築を図り、継続的な施設運営を実施するため当事業を重点化する必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>建物寿命60年の折り返し地点となっていることから、今後の施設の長寿命化を図るため、設備を定期的に修繕、工事を行っていく必要がある。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>マイントピア別子については、建設から30年以上が経過し、施設運営に必要な基幹設備をはじめ、各設備等の修繕の必要が生じている。新居浜市の主要観光地であるマイントピア別子及び新居浜市観光交流施設を臨時休館することなく、利用者に快適で安全なサービス提供・利用環境を整えるため、計画的な基幹設備の更新、老朽化設備の改修を行う必要がある。令和3年度に策定(令和4年度改定)したマイントピア別子の施設整備計画に基づき、計画的に設備の更新、修繕を進める。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07219_02		
事業名(行目名称)		旧別子観光センター跡地整備事業	細事業名	筏津観光施設整備事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	近代化産業遺産群を活用した観光の振興	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	観光施設数	数値	1			
	手段(どうやって)	筏津坑周辺整備工事の実施					
	目的(どんな状態にしたいのか)	筏津坑来訪者が快適かつ安全に利用できる環境の整備					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			6,867	6,867	○工事請負費 6,867千円		
財源	県・国支出金		0	0			
	地方債		0	0			
	その他		6,867	6,867			
	一般財源		0	0			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
工事件数		目標値			1	1	0
		実績			1	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する				
令和4年度までに筏津坑周辺駐車場の整備が終了した。令和5年度については、老朽化した既存公衆トイレの撤去及び案内標識の設置を予定しており、現在着手中である。今年度の工事により、筏津坑の整備が一通り完了することから、事業を休止とする。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
令和5年度の工事により、筏津坑の整備が一通り完了することから、翌年度以降の予算要望についても休止とする。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	D:事業の統合・休廃止を検討				
筏津坑周辺整備工事を実施し、案内標識の設置、老朽化している看板及び公衆トイレの撤去を行い来訪者の快適かつ安全に利用できる環境を整備した。これにより筏津坑に係る周辺整備は終了したため、事業を休止とする。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07030_08		
事業名(行目名称)		観光宣伝推進費	細事業名	着地型旅行商品企画・造成事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	新居浜ブランドの育成・拡大	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民及び市外からの観光客		数値	1523187		
	手段(どうやって)	観光素材集の整備・見直し、旅行会社等への当市観光資源のアプローチ ・県内外大学と連携した新規コンテンツの造成ならびに既存コンテンツのブラッシュアップ					
	目的(どんな状態にしたいのか)	観光施設、郷土料理、宿泊施設等の観光素材を取り込んだ着地型旅行商品を開発、流通させることにより、誘客機能の強化を図るとともに、観光客の滞在時間の増加を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		4,474	4,580	4,580	○委託料 4,580千円		
財源	県・国支出金	1,897	1,897	1,897		0	
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	2,577	2,683	2,683			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
旅行商品販売数等(モニター含む)			目標値	10	10	10	10
			実績	9	7	0	10
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
<p>当市内の観光資源について、各旅行会社へPRすることで旅行商品の造成に寄与した。また、県内大学と連携し、既存観光素材のブラッシュアップおよび情報発信の強化、新たなテーマ性のある巡り方についてアプローチしている。コロナ禍の影響により、ツアー実施等の機会獲得にハードルが生じている現状であるが、新観光素材の獲得・魅せ方の提案など、流行に乗じた当市観光素材のPR機会獲得に寄与している。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
<p>観光素材の掘り起こし・魅力発信については急増するものではないため、既に造成された旅行商品や観光素材のPRに関して旅行会社等へ継続したアプローチを図る必要がある。また、着地側である当市内の受け入れ環境を強化するため、継続したガイドの育成やツアーバスの誘致促進、また観光物産における流行を加味し提供しつづけていく体制・機会創出の必要があり、継続した事業推進が求められる。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>コロナが落ち着き、観光需要が高まってきている今、市内への誘客を進めるためには旅行会社等へのアプローチが欠かせない。営業資料である観光素材集は最新情報を掲載するため定期的な内容の更新が必要である。 また、県内大学と連携して作成したデジタルパンフレットは、学びの教材としての活用や本市への観光を検討している方のための情報収集ツールとして活用予定である。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07077_06			
事業名(行目名称)		物産振興対策費	細事業名	県外物産展開催事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興				
	基本計画	新居浜ブランドの育成・拡大	担当課	観光物産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	県外からの入込観光客		数値	778,445人			
	手段(どうやって)	県外(東京・せとうち旬彩館)での物産展の開催、都市間交流協定に伴う「大府産業文化まつり」への出展						
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜ブランドの宣伝普及のための県外での物産展開催等により、本市の知名度アップ及び商品の販路拡大、ひいては地場産業の活性化を推進する。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		1,172	706	706	○旅費 156千円 ○委託料 550千円			
財源	県・国支出金	0	0	0			0	
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0				
	一般財源	1,172	706	706				
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
事業参加店舗数			目標値	20	20	20	20	20
			実績	0	2	1	2	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>コロナ禍の影響により、引き続き県外市外へ向けた市内事業者の自発的な物産展等への出展が阻害されている現状があるものの、当市の知名度アップならびに各特産品の販路拡大を図ることはもちろん、市場の動向を把握する機会を得ることにより、観光物産のブラッシュアップ、ひいては観光物産施策の改善につながる可能性が高い事業であることから、継続した出展・販売機会の創出を図ることが重要であり、現状維持にて実施する妥当性が高いと考えている。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小					
<p>本事業は、本市の知名度アップ及び商品の販路拡大につながる一方で、別地域での特産品売込みにより新たな販路の機会創出を目指す必要もあることから、先行や頻度の見直し、検討を加えつつ、実施していく必要があると考えている。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和5年度)	C: 事業規模・内容・実施主体の見直し検討					
<p>県外に向けて観光物産のPRを実施することで、新居浜の知名度アップ及び商品の認知度アップを図ることができている。事業者自らも出展することで、市外業者とのつながりを作るきっかけとなっている。</p>								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07077_09	
事業名(行目名称)		物産振興対策費	細事業名	食を通じた観光宣伝充実事業		
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興		
	基本計画	新居浜ブランドの育成・拡大	担当課	観光物産課		
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	観光消費額	数値	3,693,774千円		
	手段(どうやって)	ご当地グルメ選手権を開催し、新たなご当地グルメの開発や市民への周知を行う。				
	目的(どんな状態にしたいのか)	地域間競争を勝ち抜くための地域特性を活かした観光まちづくり推進のため、新たな視点である「食」分野において、ご当地食の再発見による観光振興や付加価値のある飲食品の創出等に取り組み、新居浜ブランドの魅力向上による交流人口の拡大を図る。				
III 投入費用						
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)		令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		1,413	1,413	1,413		
財源	県・国支出金	0	0	0	0	
	地方債		0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	1,413	1,413	1,413		
○負担金補助及び交付金 1,413千円						
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度
開発メニュー数		目標値	10	10	0	10
		実績	10	12	0	13
						—
V 事中評価						
評価視点	妥当性	高い	有効性	やや低い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等	事業の方向	現状のまま維持する				
11月3日に実施予定である。						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)	予算の方向	休止・廃止				
<p>グルメ選手権は今年で第5回となり、市民から安定的な人気がある、「食」をテーマにしたイベントであるが、イベントで創出されたグルメはあまり定着せず、なかなか観光消費額の増加に繋がらない。そのため、銅婚イベントと「食」のイベントを融合することを検討し、休止とする。</p>						
VI 事後評価						
成果	総合評価(令和5年度)	D:事業の統合・休廃止を検討				
<p>令和5年度については、「串グルメ選手権」として実施し、目標値を上回る成果を得ることができた。当該事業実施による食分野の資源開発は4回目となり、一定の成果が得られたことから、観光物産協会事業など他の事業と統合することとし、今後は開発品の活用や魅力発信による消費額向上に努めるものとする。</p>						

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07077_11		
事業名(行目名称)		物産振興対策費	細事業名	七福芋ブランド推進事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	新居浜ブランドの育成・拡大	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	スーパーマーケットトレイショーパイヤー数		数値	88,121人		
	手段(どうやって)	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド推進協議会の活性化による七福芋のブランディング ・七福芋マップの更新製作 ・販路開拓(首都圏での催事(スーパーマーケットトレイショー)への出展) ・新居浜高専との共同研究による商品価値創出 					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居大島でしか穫れない幻の白いも(七福芋)のブランド化並びに情報発信、販路開拓に取り組み、本市の弱みの一つである一次産品の生産量拡大並びに一次産品を活用した食・土産づくりの推進による観光振興、地域活性化を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		635	900	900	○負担金補助及び交付金 900千円		
財源	県・国支出金	211	450	450			
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	424	450	450			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
新規成立数			目標値	2	2	2	2
			実績	4	0	0	1
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
(公財)日本離島センターが主催する「しまづくりキャラバン」に申込み、福岡会場と大阪会場の展示会に参加した。また、地元高専と七福芋の付加価値を見出すため、共同研究の契約を取り交わした。特徴ある一次産品の少ない本市において、他との差別化が図ることのできる七福芋のPRIについては、露出を増やして全国に「希少価値の高いサツマイモ」であることを知ってもらい、小ロット高単価で取引ができる先を引き続き探していく必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
農家を存続させ、大島を活性化するためには、引き続き、現在の高価格でも販売できるようブランド化及びPRIに取り組む必要がある。地元高専との共同研究については、3年が経過したため、見直しとする。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
七福芋ブランド推進協議会による七福芋のブランディングは着実に進んでいるが、更なるブランド化の推進や情報発信及び販路開拓を進めることにより、観光振興及び地域活性化につながることを目指していく。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07028_02		
事業名(行目名称)		観光事業推進費	細事業名	にいはま納涼花火大会事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	入込観光客数	数値	2,594,818人			
	手段(どうやって)	にいはま納涼花火大会事業への補助金の支出					
	目的(どんな状態にしたいのか)	四国最大級の打ち上げ総数による花火大会の開催により、新居浜市の知名度アップと入り込み観光客数の増による地域経済の活性化を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度決算額(千円)	令和5年度(千円)		令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			4,200	4,200			
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他		0	0			
	一般財源		4,200	4,200			
○負担金補助及び交付金 4,200千円							
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
花火大会観客数(人)		目標値	7500	80000	80000	80000	80000
		実績	0	0	75000	75000	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新居浜納涼花火大会協賛会へ事業補助金を出すことによる観光振興への寄与。今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大による中止以来4年ぶりの開催となった。物価や人件費の高騰により、事業費が増加した。物価の高騰は続いており、次年度以降も事業費の増加が予想される。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
新居浜の夏の風物詩として、観光客増加を目指した花火大会を継続し、観光振興へ寄与するため現状維持の必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
今後においても、にいはま納涼花火大会を開催することにより、本市の知名度アップと入り込み観光客数の増加による地域経済の活性化を図っていく。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07028_05		
事業名(行目名称)		観光事業推進費	細事業名	新居浜市太鼓祭り推進委員会事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民、太鼓台関係者及び市外からの観光客		数値	1,200,000人		
	手段(どうやって)	新居浜市太鼓祭り推進委員会事業の実施(1) 諸会議の開催(2) 5地区かきくらべ会場を視察し、祭典推進の指導(3) 観光面への寄与(ポスター掲示・幟設置・横断幕[歓迎]設置・仮設トイレの設置など)(4) 太鼓台円滑運行の推進(信号機嵩上・道路標識移動・放送設備設置・横断幕[平和祭典推進])(5) 平和祭典への取り組み					
	目的(どんな状態にしたいのか)	盛大な秋祭りを実現し、新居浜市の知名度アップと入り込み観光客数増による地域経済の活性化を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		7,465	11,178	11,178	○負担金補助及び交付金 11,178千円		
財源	県・国支出金	0	0	0			
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	7,465	11,178	11,178			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
太鼓祭り観客数(人)		目標値	220000	150000	150000	150000	200000
		実績	0	99300	190300	190300	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
令和5年度新居浜太鼓祭りは、4年ぶりの通常開催となった。太鼓祭りを活用した観光振興を行っていくため、平和運行の実現が必要である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
安全に安心して楽しめる太鼓祭りを推進し、観光客をはじめとした観覧者にリピーターとなってもらうため、太鼓台関係者及び推進委員会が強固に連携し、平和運行の啓発や太鼓祭りを活用した観光振興を行っていく必要があるため現状維持とする。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当				
令和5年度については、新型コロナウイルス感染症の影響がなくなったこと、4年ぶりに「山根グラウンド統一寄せ」が開催されたことにより目標値を大きく上回る観光客の誘致が図られた。今後は計画通りに事業を進め、安全安心に「いいま太鼓祭り」を楽しむことのできる体制を整備し、「いいま太鼓祭り」を活用した観光振興に努める。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07028_10			
事業名(行目名称)		観光事業推進費	細事業名	とっておきの新居浜検定事業補助金				
総合 計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興				
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課				
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	新居浜市の歴史や文化等に関心のある新居浜市民等		数値	120915			
	手 段 (どうやって)	新居浜市に関する近代化産業遺産、先人、食、物産、産業、観光、自然、方言、文化財等を問題にした「とっておきの新居浜検定」の実施						
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	新居浜の良さを再発見する機会を市民に提供するほか、新居浜の魅力を発信し、新居浜を訪れる観光客を増やす。また、新居浜の未来を担う子どもたちに対しても、ふるさとの良さを再発見する機会を提供し、将来の地域経済の活性化につなげる。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 125千円		
経費		103	125	125				
財 源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0				
	一般財源	103	125	125				
IV 指 標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
新居浜検定受験者数(実数:人)			目標値	1200	1200	0	1200	1200
			実績	1126	1107	0	1003	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
今年度は11月12日に開催予定である。新居浜市の観光振興及び観光まちづくり推進を図るうえで、地域住民の視点や機運醸成は不可欠であることから現状維持とする。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
市民に観光地を含めもっと新居浜のことを知ってもらい、誇りをもってもらうことで、産業遺産等の観光資源の活用・発信に繋げる。また、新居浜の未来を担う子供たちに対しても、ふるさとの良さを再発見する機会を与えらるとともに、郷土愛を醸成するためには、継続的に実施する必要があるため、現状維持とする。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
ふるさとの歴史を知り学ぶことで郷土愛を醸成することができる。 また、市史や魅力を発信することで、近代化産業遺産群をはじめとした観光資源に興味を持ってもらい、観光につなげる。 次世代を担う子どもたちの郷土愛を醸成するためには、継続的に実施する必要がある。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	07028_20	
事業名(行目名称)		観光事業推進費		細事業名			にいはまわくわく春祭り事業
総合 計画	まちづくり	経済・雇用		施策			観光・物産の振興
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘		担当課			観光物産課
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	市民、主として市内在住の親子、市外からの観光客			数値	1189340人	
	手 段 (どうやって)	ゴールデンウィーク期間中における、にいはまわくわく春まつりイベント実施、ならびに子ども太鼓台の運行支援、子どもを対象としたイベントの実施					
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	当市の今後の地域発展の担い手である子どもたちの郷土愛醸成ならびに、イベントにおける観光・物産の盛り上げを図り、新居浜市全体の観光物産振興を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		900	1,560	1,560			
財 源	県・国支出金	0	0	0	○負担金補助及び交付金 1,560千円		
	地方債		0	0			
	その他	450	780	780			
	一般財源	450	780	780			
IV 指 標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
にいはまわくわく春まつり参加者数		目標値	0	10000	10000	10000	
		実績	0	5000	13000	13000	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや低い	有効性	やや高い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する				
<p>ゴールデンウィーク期間中に新居浜駅前人の広場等において「にいはまわくわく春まつり」として事業を実施。コロナ禍の影響が尾を引く時期だったものの、目標を上回る参加者数があり一定の有効性があった。しかしながら、市外からの集客や子ども太鼓台運行にかかる事業効果については課題が残り、イベントとしての見直しが必要と考える。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
<p>イベントを休止とし、見直しを図る。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)		D:事業の統合・休廃止を検討			
<p>あかがねミュージアムや駅前人の広場を中心とした市全体の賑わい創出の機会となった。しかし、市外からの集客や子ども太鼓台運行にかかる事業効果については課題が残り、イベントとしての見直しを図る。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07030_01		
事業名(行目名称)		観光宣伝推進費	細事業名	観光宣伝推進事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民及び市外からの観光客	数値	1,189,340人			
	手段(どうやって)	観光パンフレットなどの製作や配布、観光誘致ポスターの掲示等による情報発信					
	目的(どんな状態にしたいのか)	入り込み観光客の増加を図り、地域経済の活性化を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		4,369	10,361	10,361	0	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費 435千円 ○旅費 637千円 ○需用費 1,966千円 ○役務費 1,077千円 ○委託料 5,796千円 ○負担金補助及び交付金 450千円 	
財源	県・国支出金	660	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	90	350	350			
	一般財源	3,619	10,011	10,011			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
観光ポスター・パンフレット配布数		目標値	36000	40000	20000	40000	45000
		実績	39122	17195	20000	20757	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>観光パンフレットのリニューアル、新居浜太鼓祭りポスター・パンフレットの制作、配布等に取り組んでいる。その他パンフレットについては観光物産協会でも制作されており、統一感を持たせることが課題であることに加え、近年の流行を捉えた紙面構成やwebとの連携も必要であると考えられる。また、市外・県外に向けた観光宣伝も積極的に行っていく必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>当市観光宣伝のため、パンフレットのリニューアルや太鼓祭りポスター・パンフレットの制作・配布等に取り組んでいる。時代に合わせた情報発信を行うため、必要物の選定を図り、適した宣伝事業の推進が必要となることから、内容の刷新を都度行いつつ、継続して事業を進めることが求められる。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>本市の観光宣伝のため、観光パンフレットのリニューアルや太鼓祭りポスター・パンフレットの制作・配布等に取り組んでいる。時代に合わせた情報発信を行うため、制作物の選定を図り、都度内容を更新しながら継続して取り組むことが必要である。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07033_01		
事業名(行目名称)		広域観光推進費	細事業名	NS観光推進協議会事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市、四国中央市の市民及び他市からの観光客		数値	2,594,818人		
	手段(どうやって)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロードマップ等の製作・配布 ・SNSによる情報発信や各種誘客イベントの開催 ・幹事会・総会等による情報交換 					
	目的(どんな状態にしたいのか)	四国中央市との連携による広報宣伝活動の充実を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		450	450	450		○負担金補助及び交付金 450千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	450	450	450			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
別子・翠波はな街道主要施設入込観光客数	目標値		500000	500000	250000	500000	
	実績		493077	614417	-		-
V 事中評価							
評価視点	妥当性	やや高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等	事業の方向	現状のまま維持する					
<p>新居浜市と四国中央市、ならびに別子翠波はな街道沿線の施設で構成する「NS観光推進協議会」にかかる事業であり、公式HPならびに公式Instagramをはじめとしたweb上での情報発信のほか、愛媛県公式観光ガイドブック「愛媛本」への情報掲載、PR動画作成等を通し、行政官で連携した広域エリア全体の情報発信を行っている。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)	予算の方向	現状維持					
<p>別子翠波はな街道エリア自体の認知度向上のため、継続した広域観光推進を図っていく必要があることから、現状維持とする。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>別子・翠波はな街道における主要施設(マイントピア別子・ゆらぎの森等)に係る広報宣伝活動を継続して実施し、入込観光客数の更なる増加を図る。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07033_02		
事業名(行目名称)		広域観光推進費	細事業名	別子・翠波はな街道サイクリング事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市、四国中央市の市民及び他市からの観光客		数値	2,594,818人		
	手段(どうやって)	「別子・翠波はな街道」をコースとしたサイクリング大会の開催					
	目的(どんな状態にしたいのか)	「別子・翠波はな街道」を舞台に、最近の観光振興の潮流であるサイクリングを活用し、四国中央市と共同にてサイクリング大会「別子・翠波はな街道サイクリング」を開催することにより、同ルートのPRや更なる地域活性化の推進を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 700千円	
経費		700	700	700			
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	700	700	700			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
参加者人数(人)		目標値	400	200	200	200	200
		実績	中止	60	58	58	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
今年度は四国中央市出発で、ゆらぎの森を折り返すコース設定での開催となった。ゆらぎの森エイドステーションでは昼食とともに地元銘菓を参加者に提供し、ゆらぎの森だけでなく、特産品のPRも行った。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
当イベントを通じて、特産物や別子・翠波はな街道上の施設の魅力をPRすることにより、リピーターやファンの獲得が見込まれ、更なる地域活性化にもつながることから現状維持とする。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
サイクリング大会を四国中央市と共同開催しており、開催地を交互に担っている。四国中央市側発着のコース設定に比べると、新居浜市側発着のコース設定には難しい面が多いことから、実施方法・実施主体を含め四国中央市との協議を図る必要がある。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07033_03		
事業名(行目名称)		広域観光推進費	細事業名	三市連携広域観光宣伝推進事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	東予東部三市における県外観光客数		数値	964,000人		
	手段(どうやって)	・インバウンド向けフリーマガジンへ三市観光情報を掲載					
	目的(どんな状態にしたいのか)	地方への誘客のためには、広域周遊ルートの形成や地域の観光資源の磨き上げを行うことが必要であり、また、効果的なプロモーション活動が必要である。本事業では、東予東部の3市が連携して情報発信することによって、情報発信力強化及び観光地域のブランド化を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 367千円	
経費		367	367	367			
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	367	367	367			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
県外からの観光客数(千人)		目標値	1000	1000	1000	1000	1000
		実績	538	684			—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
<p>本事業は新居浜市と隣接する西条市・四国中央市と連携し、東予東部圏域の広域的な観光施策、インバウンドの推進に取り組んでいる。大阪万博の開催に合わせ、先行きを見据えた企画展開が必要であり、インバウンドを対象とした広域観光商品の造成・展開が必要とされている。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>国内および国外の情勢に合わせ、インバウンドにおいてもより効果的な事業施策が求められている。情報発信やプロモーション活動のみならず、観光素材となる広域的な旅行商品の造成やPRを行い、新居浜市単体でない広域的な集客アプローチを実施するため、三市で継続した事業展開を図ることが求められる。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	B: 事業の進め方の改善検討				
<p>2025年に開催される「2025年日本国際博覧会」を視野に入れ、インバウンドを含む新規観光客の誘客促進のため、観光資源の磨き上げやコンテンツの充実を図り、質の高い魅力的な広域観光周遊ルートの構築と効果的な情報発信に取り組むものとして、令和5年度事業は情報誌への掲載を取りやめ、事前協議と調整を行った。令和6年度については、事業規模を拡大し、観光資源の磨き上げとプロモーションを行うものとして、事業の進め方を転換する。 【令和5年実績は5/21現在未公表＝愛媛県の「令和5年観光客数とその消費額」東予圏域の県外からの入込数が入る予定】</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07088_01		
事業名(行目名称)		観光施設整備事業	細事業名	観光施設整備事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	観光施設数	数値	8			
	手段(どうやって)	自然災害や老朽化等により不具合が起こった観光施設を修繕する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	観光施設を良好な状態で維持する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○需用費 850千円	
経費		276	850	850	173		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	276	850	850	173		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
観光施設修繕箇所数(施設)		目標値	5	5	5	5	5
		実績	1	1	1	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
市内各地に所在する各観光地の修繕のための事業であり、各施設は20年～30年が経過していることから修繕の必要性が高まっている。また1件当たりの修繕費用も増加しており、予算内で優先順位ををつけて実施する必要があることから、成果指標を達成してはいないものの現状を維持する必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
各観光地において利用者の安全で快適な利用環境を維持するため、事前修繕や緊急修繕を毎年実施していく必要があることから現状維持とする。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		B: 事業の進め方の改善検討				
令和5年については1件の修繕のみとなったが、20年～30年が経過した市内観光地の不測の修繕等に対応し、本市の観光振興が滞ることのないように対応していくことが不可欠であることから、今後も事業を継続していく必要がある。また、今後、1件当たりの修繕金額の傾向を見ながら、適宜目標値を修正する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07187_01		
事業名(行目名称)		ゆらぎの森整備事業	細事業名	ゆらぎの森整備事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	観光施設数	数値	1			
	手段(どうやって)	電源付きキャンプサイトの整備、ゆらぎ館内装改装及びWi-Fi環境の整備の実施					
	目的(どんな状態にしたいのか)	施設のにぎわい創出及び施設利用者の快適かつ安心な利用環境の整備					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○工事請負費 48,000千円	
経費			48,000	48,000			
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		48,000	48,000			
	その他		0	0			
	一般財源		0	0			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
工事件数		目標値			3	3	0
		実績			2	3	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する				
<p>竣工より20年以上が経過している新居浜市森林公園ゆらぎの森に係る工事等の事業となり、建物及び各設備において老朽化しているため、施設利用者の安全、快適な利用環境を維持向上させるために令和5年度については内装改装、キャンプ場電源設置、Wi-Fi環境の整備を実施する。令和6年度は工事等の予定がないため事業としては休止となるが、今後は、長期的な視点での工事、修繕を計画的に実施する必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
<p>令和6年度は工事の予定がないため、予算の要求方針としては休止とする。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	B:事業の進め方の改善検討				
<p>施設のにぎわい創出及び施設利用者の快適かつ安心な利用環境の整備のため、各種整備工事等を実施した。今後は、新たに整備したキャンプ場の積極的活用を実施するとともに、建設から約20年が経過している施設の根本的な改修及び修繕を検討していく必要がある。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07221_01		
事業名(行目名称)		太鼓祭り観光資源化推進事業費	細事業名	太鼓祭り観光資源化推進事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民、太鼓台関係者及び市外からの観光客		数値	1,200,000人		
	手段(どうやって)	市民や観光客が安全で快適に太鼓祭りを楽しむことができるよう観光面での取組実施(仮設トイレの設置、警備員の配置など)					
	目的(どんな状態にしたいのか)	観光客の安全確保と利便性向上を図ることにより、新居浜太鼓祭り、新居浜市の認知度アップ、地域経済の活性化を推進する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		4,501	8,278	8,278			
財源	県・国支出金	0	0	0	○委託料 8,278千円		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	4,501	8,278	8,278			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
太鼓祭り観客数(人)		目標値	220000	150000	180000	180000	200000
		実績	0	99300	190300	190300	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>令和5年度新居浜太鼓祭りは、4年ぶりの通常開催となった。人件費や物価の高騰により、事業費が増加した。来年度以降も事業費の増加が予想される。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
<p>令和6年度は、人件費や物価の上昇により事業費が増加すると予想されるため、拡大とする。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>令和5年度については、新型コロナウイルス感染症の影響がなくなったこと、4年ぶりに「山根グラウンド統一寄せ」が開催されたことにより目標値を大きく上回る観光客の誘致が図られた。今後は計画通りに事業を進め、安全安心に「にいほま太鼓祭り」を楽しむことのできる環境を整備し、「にいほま太鼓祭り」を活用した観光資源化に努める。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	07254_01	
事業名(行目名称)		観光物産事業推進費	細事業名	新居浜市観光物産協会事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市観光物産協会会員		数値	288		
	手段(どうやって)	新居浜市の観光物産振興に関する各種イベント開催のほか、会員増強に努める。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	一般社団法人としての安定した組織運営を図るため会員を増強し、各種観光または物産イベントへの参画、宣伝強化による当市全体の観光客数増を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 18,704千円	
経費		18,704	18,704	18,704			
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	18,704	18,704	18,704			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
観光宣伝事業実施数			目標値	-	15	15	15
			実績	-	8	0	5
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや低い	有効性	やや低い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
<p>令和3年4月に設立された一般社団法人新居浜市観光物産協会において、定款に求める目的を達成するため、各種事業を実施し補助金で支援を行っているものの、組織体制の課題もあり効果的な事業実施は図れていない。設立から3年目が経過するものの、組織としての機動性や自主性に大きな課題があり、会員および地域に寄与する活動は伴っていない現状である。事務局職員の構成に変動があるため、タイミングを計り必要事業の選定、求められる立ち位置や昨今の観光物産における知見醸成を図り、より地域の実情に適した事業体制を構築していく必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
<p>新居浜市の観光および物産事業における推進の要となる組織であるが、組織体制の確立や事業の効果面で期待した効果は表れていない。安定的かつ実情に適した事業体制の構築、会員や地域に求められる活動・支援内容の構築、昨今の観光物産事情の知見の醸成ががのうな組織体制の構築を図るため、現事業を一部縮小し、より効果的な事業の見直しを図っていく必要がある。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>観光物産協会は、市の観光物産事業を推進するうえで欠かせない組織であり、安定的な事業体制の構築が必要である。ふるさと納税の返礼品に参画する事業者を新たな会員として登録し、組織の増強に努めているが、より自主的・能動的な活動を求めている。</p>							

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)				数値		
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				